

令和7年度事業報告書

1. 社会福祉法人慈雲会関係

(1) 理事会の開催状況 6回 (通常理事会4回 臨時理事会2回)

令和7年度第1回通常理事会			
開催日	令和7年5月29日(木)	場所:慈晃園	出席者 理事6名 監事2名 欠席者 なし
議題等	報告第1号	理事長職務執行状況について	
	議第1号	令和6年度社会福祉法人慈雲会事業報告及び計算書類並びに財産目録の承認について	
	議第2号	次期役員候補者について	
	議第3号	評議員選任候補者の推薦につき同意を求めることについて	
	議第4号	令和7年度定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について	
概 要		【議第2号】 植田理事、山下理事の退任に伴い、新たに永野尚美氏と川上公誠氏を理事候補として提案し、他の理事4名・監事2名は再任とした。 【議第3号】 現評議員3名(新評議員、岡野評議員、立田評議員)の退任に伴い、次期評議員候補として武藤隆士氏・山下憲昭氏・佐藤比呂志氏を含む7名を選任・解任委員会へ推薦し、同意を求めた。	

令和7年度第2回通常理事会			
開催日	令和7年6月13日(金)	場所:市民センター	出席者 理事5名 監事2名 欠席者 永野理事
議題	議第5号	理事長選定について	
	議第6号	特別養護老人ホーム慈晃園給与規則の一部改正について	
	議第7号	特別養護老人ホーム慈晃園非常勤職員就業規則の一部改正について	
	議第8号	特別養護老人ホーム慈晃園短時間労働者就業規則の一部改正について	
	議第9号	慈晃園デイサービスセンター運営規程の一部改正について	
	議第10号	慈晃園居宅介護支援センター運営規程の全部改正について	
概 要		【議第6号】 看護職員・介護支援専門員等への待機手当新設や勤勉手当の評価反映、令和6年度熊本県の介護人材確保・職場環境改善等事業補助金を受け、臨時手当3万円支給する給与規則を改正した。 【議第7号・第8号】 非常勤職員及び短時間労働者、議第6号と同様に臨時手当3万円支給のため就業規則を改正した。 【議第9号】 デイサービスの営業時間を30分延長し、サービス提供時間も拡大する。利用者（特に独居）の夕食ニーズに対応するため運営規程を改正した。 【議第10号】 24時間365日対応体制や要支援者の対象追加すること及び特定事業所加算Ⅲの取得をするため運営規程を改正した。	

令和7年度第1回臨時理事会				
開催日 令和7年7月18日(金)		場所:佐伊津 コミュセン	出席者 理事6名 監事2名	欠席者 なし
議 題	議第11号	令和7年度社会福祉法人慈雲会資金収支補正予算第1号について		
	議第12号	特別養護老人ホーム慈晃園指定短期入所生活介護事業・指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について		
概 要		【議第11号】 ショート再開（令和7年10月1日）に向け、居室改修や空調設備等の整備のため収入・支出総額にそれぞれ7,260千円を追加する補正予算を編成とした。 【議第12号】 定員を9名から6名へ縮小し職員配置を見直すことで負担軽減と事業継続及び、収益確保を図ることとした。		

令和7年度第3回通常理事会				
開催日 令和7年9月30日(火)		場所:慈晃園	出席者 理事6名 監事2名	欠席者 なし
議 題 等	報告第2号	理事長職務執行状況報告について		
	議第13号	令和7年度社会福祉法人慈雲会資金収支補正予算第2号について		
概 要		【報告第2号】 施設整備関係、職員の採用、退職状況等の報告 【議第13号】 ショート再開に伴う備品購入や借入金返済等のため補正予算を編成し、借入金を補正1号の7,260千円から7,000千円に減額するなど収支を調整。支出合計は761千円増の669,899千円とした。		

令和7年度第2回臨時理事会				
開催日 令和7年12月19日(金)		場所:慈晃園	出席者 理事6名 監事2名	欠席者 なし
議 題 等	議第14号	令和7年度社会福祉法人慈雲会資金収支補正予算第3号について		
	議第15号	特別養護老人ホーム慈晃園就業規則の一部改正について		
	議第16号	特別養護老人ホーム慈晃園非常勤就業規則の一部改正について		
概 要		【議第14号】 人件費増（職員増員・最低賃金改定）やリース料・外国人受入費用等により支出を7,100千円増額し、支出総額を676,999千円とする補正予算を編成とした。 ショート再開に伴う収入増は見込めるが、ユニット型特養の収入減が予想されるため、法人全体の収入予算は変更なしとした。 【議第15号・第16号】 就業規則を改正し、管理職（施設長、副施設長、事務長）の定年年齢を削除、及び代休取得ルール（事前付与・申請手続・3か月以内取得等）を整備。 非常勤職員についても同様の改正内容とした。		

令和7年度第4回通常理事会			
開催日 令和8年3月27日(金)		場所:慈晃園	出席者 理事6名 監事2名 欠席者 なし
議題等	報告第3号	理事長職務執行状況報告について	
	議第17号	社会福祉法人慈雲会経理規程の一部改正について	
	議第18号	特別養護老人ホーム慈晃園就業規則の一部改正について	
	議第19号	特別養護老人ホーム慈晃園非常勤職員就業規則の一部改正について	
	議第20号	特別養護老人ホーム慈晃園短時間労働者就業規則の一部改正について	
	議第21号	特別養護老人ホーム慈晃園給与規則の一部改正について	
	議第22号	令和8年度社会福祉法人慈雲会事業計画について	
	議第23号	令和8年度社会福祉法人慈雲会資金収支予算について	
概要	【報告第3号】 職員は採用5名・退職3名で計111名、設備更新や修繕を実施し、介護職員確保が引き続き課題。 令和7年4月1日から令和8年1月31日までの予算対比で介護報酬収入は全体で約23,771千円減収、主に入所率低下や利用者減が要因。		
	【議第17号】 随意契約の基準額を県通知に基づき引き上げた。（工事400万円、物品300万円等）		
	【議第18号～第20号】 勤怠管理に静脈認証システムを導入し出退勤管理を厳格化、職場区分毎の勤務時間区分も見直し、非常勤・短時間職員も同様に改正した。また、臨時手当6.4万円を支給するため規則を改正した。（令和8年6月30日支給）。		
	【議第21号】 令和7年度熊本県介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業補助金を受け、全職員に臨時手当6.4万円を支給することとした。また、最低賃金対応のため初任層（1等級）の給料を引き上げた。		
	【議第22号】 令和8年度事業計画として、各部門ごとの目標と運営方針を設定。 サービスの質向上と安定経営に向けた体制整備を図ることとした。		
	【議第23号】 令和8年度予算は増収を見込むが、人件費・物価上昇により約53,263千円の赤字予算で編成することとした。 期末資金残高は約70,058千円を見込み、収入確保と経費削減を推進する内容とした。		

(2) 評議員会の開催状況 1回（定時評議員会1回 臨時評議員会未開催）

令和7年度定時評議員会			
開催日	令和7年6月13日（金）	場所：市民センター	出席評議員 5名 欠席評議員 2名
議 題	報告第1号	令和6年度社会福祉法人慈雲会事業報告について	
	議第1号	令和6年度社会福祉法人慈雲会計算書類及び財産目録の承認について	
	議第2号	「蓮池肇一さんを理事に選任する件」について	
	議第3号	「金子俊二さんを理事に選任する件」について	
	議第4号	「寺下高志さんを理事に選任する件」について	
	議第5号	「永野尚美さんを理事に選任する件」について	
	議第6号	「川上公誠さんを理事に選任する件」について	
	議第7号	「立川尚己さんを理事に選任する件」について	
	議第8号	「山下正昭さんを監事に選任する件」について	
	議第9号	「谷端敏光さんを監事に選任する件」について	

(3) 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会			
開催日	令和7年6月6日（金）	場所：慈晃園	外部委員1名 監事2名 事務局員1名
議 題	議第1号	社会福祉法人慈雲会評議員7名の選任について	

(4) 監事の監査

開催日	令和7年5月21日（水）	場所：慈晃園	出席者 監事2名
内 容	令和6年度業務及び財産の状況の調査		

2. 運営関係

1) 入居者及び利用者の処遇

令和7年度の施設サービスの処遇面においては、入居者一人ひとりの意向と自立支援を重視し、個別に作成したケアプランを基に多職種で連携を図りながら、個人の尊厳の保持や身体的・心理的虐待の防止、健康管理の徹底に努めた。高齢者施設として感染症罹患時の重症化リスクに配慮し、継続的な感染対策を講じながら、面会については対面を基本とし、各居室での面会にも対応することで、入居者と家族との関係性の維持・向上に取り組んだ。また、人生の最終段階における支援においては、本人および家族の意向を尊重し、看取りの場面でも安心して最期の時間を過ごせるよう支援体制を構築し、ユニット型特養で11名、地域密着型特養で2名の看取り支援を実施した。一方で、ユニット型特養では退所者数が28名と多く、入所受け入れが退所者数に追いつかない状況が年間を通じて続き、安定的な稼働確保が課題となった。

ショートステイについては、前年度からの休止を経て、令和 7 年 10 月より定員を 9 名から 6 名に見直し再開した。再開後は、地域ニーズへの対応機能の回復に努めるとともに、慈晃園ショートステイの利用を通じて、利用者情報の収集や状態把握を早期に行うことができ、特養入所への円滑な移行につながるなど一定の効果が見られた。再開後は、ユニット型特養への入所者 17 名中 8 名がショートステイ利用者からの入所となっており、入所に直結する重要な役割を果たしている。

デイサービスでは、利用者数の増加傾向を受け、5 月より定員を 25 名から 30 名へ拡大するとともに、7 月からは夕食も提供することとし、サービス提供体制の充実を図った。

居宅介護支援事業所においては、7 月から 24 時間 365 日対応体制を整備し、切れ目のない要支援者の受け入れを開始するとともに特定事業所加算Ⅲを取得し、より質の高いケアマネジメントの提供に取り組んだ。また、多機能ホームやまぐちでは登録者数が毎月 26 名程度で安定的に推移し、介護報酬は過去最高となる約 6,430 万円となった。

しかしながら、職員数の増加に伴う人件費の上昇や最低賃金の引き上げ、さらには食材費や光熱費等の物価高騰の影響が重なり、経費負担は年々増大している状況にある。これらの要因により、法人全体として収支の均衡を図ることが難しくなっており、引き続き厳しい経営状況が続いている。

2) 施設の社会貢献

外部からの施設実習については、熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校より実習生 1 名を受け入れ、継続的な支援を行った結果、令和 8 年度には障がい者枠での雇用につなげることができた。また、尚絨大学短期大学部より栄養士実習生 1 名を受け入れ、専門職育成への協力を行った。さらに、熊本県立大学が実施する地域連携型学生研究の一環として、バスツアーによる企業訪問を受け入れ、高校生に対し、福祉施設の役割や業務内容について理解を深める機会を提供した。また、天草市社会福祉協議会主催のワークキャンプに協力し、中学生 2 名を受け入れ、ボランティア活動や高齢者福祉に対する理解と関心を深める機会を提供した。加えて、佐伊津小学校 4 年生の総合的な学習時間において、職員 1 名を講師として派遣し、高齢者福祉施設の役割や福祉の仕事について出前講話を実施した。

地域交流の取組としては、地元住民が主催する佐伊津町ふるさと祭りへ参加したほか、地域密着型特別養護老人ホーム慈晃園及び多機能ホームやまぐちの運営推進会議を開催し、事業実施状況の報告を行うとともに、地域住民からの意見・助言を受けながら、地域に根ざした施設運営に努めた。

3) 職員の自己研鑽と連携

毎月実施している運営会議において、各事業の実績や収支状況等の必要な情報を職員全体へ共有し、組織内の連携強化及び情報共有の充実に努めた。

施設内研修については、法定研修を中心に実施するとともに、職員各自が課題を設定し、一定期間における実践及び振り返りを行うなど、集合形式にとらわれない工夫した研修を実施し、職員の資質向上に努めた。また、施設外研修については、対面及びオンライン双方の研修へ積極的に参加し、習得した知識や技術について職員間で共有を図ることで、サービスの質の向上及び業務改善に活かした。さらに、令和 7 年度は養護老人ホーム事業を展開する他法人との福祉情報共有会を開催し、各施設の取組紹介や制度に関する勉強会、意見交換会等を実施した。令和 8 年度においては、法人間連携をさらに深化させるため、職種間での交流機会等の創出を予定している。

3. 各事業状況

1) ユニット型特別養護老人ホーム慈晃園

▼定員 77 名に対し、運営実績は以下の通りとなった。

- ・年間延人員：26,422 人（1 日平均 72.4 人 / 充足率 94.0%）
- ・退所者数：29 人（死亡 22 人、長期入院 3 人、在宅復帰 2 人、他特養入所 2 名）
- ・新規入居者数：28 人（在宅 13 人、老健施設 8 人、病院 5 人、有料 2 名）

○令和 8 年 3 月 31 日現在

入居者数 … 73 人（男性 21 人 / 女性 52 人）
出身地別 … 天草市 68 人 苓北町 2 人 上天草市 1 人 八千代市 1 人
平均年齢 … 88 歳 10 か月（男性 86 歳 5 か月 女性 89 歳 7 か月）
平均要介護度 3.6（年間）

2) 地域密着型特別養護老人ホーム慈晃園

▼定員 13 名に対し、運営実績は以下の通りとなった。

- ・年間延人員：4,524 人（充足率 95.3% / 1 日平均 12.4 人）
- ・退所者数：4 人（死亡 3 人、長期入院 1 人）
- ・新規入居者数：5 人（介護医療院 1 人、老健 3 人、慈晃園 1 名）

○令和 8 年 3 月 31 日現在

入居者数 … 13 人（男性 2 人 / 女性 11 人）
出身地別 … 天草市 13 人
平均年齢 … 86 歳 7 か月（男性 83 歳 9 か月 女性 87 歳 2 か月）
平均要介護度 3.7（年間）

3) 特別養護老人ホーム慈晃園（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業）

▼定員 6 名に対し、運営実績は以下の通りとなった。※令和 7 年 10 月～再開

- ・年間延人員：816 人（充足率 74.7% / 1 日平均 4.5 人 / 平均要介護度 3.1）
- ・介護保険サービス事業 793 人
- ・介護予防サービス事業 23 人

4) 慈晃園デイサービスセンター（通所介護・日常生活支援総合事業）

▼定員 30 名（R8.4 月 定員 25 名）、年間営業日数 310 日に対し、運営実績は以下の通りとなった。

- ・年間延人員：6,705 人（1 日平均 21.5 人 / 利用率 71.6%）
- ・介護保険サービス事業 5,711 人（1 日平均 18.3 人 / 平均要介護度 2.0）
- ・通所型自立支援サービス 994 人（1 日平均 3.2 人）

5) 慈晃園居宅介護支援センター（居宅介護支援）

居宅サービス計画書（ケアプラン）作成実績は以下の通りとなった。

- ・作成延総数：年間延 1,307 人（介護 877 人 / 予防 202 人 / 事業対象 228 人）
- ・利用者状況：平均要介護度 2.0

6) 小規模多機能型居宅介護事業（多機能ホームやまぐち）

登録定員 29 名に対し、運営実績は以下の通りとなった。

- ・平均登録者数：26 名（平均要介護度 2.0）
- ・通い（年間延）：4,492 人（要介護 3,666 人 / 要支援 826 人）
- ・泊り（年間延）：533 人（要介護 448 人 / 要支援 85 人）
- ・訪問（年間延）：3,301 人（要介護 2,768 人 / 要支援 533 人）

4. 施設整備関係

1) 建物及び備品修繕状況

No.	完工日	工 事 名	契 約 額	工事業者	工 事 概 要
1	R7. 4. 30	イルカユニット エアコン修理	132,000円	三和電工設備㈱	居室エアコン取替工事
2	R7. 5. 9	慈晃園階段入口他 扉取付工事	154,000円	大昌建設株式会社	扉取付工事
3	R7. 6. 11	慈晃園玄関屋根及び 物干し場他改修工事	3,399,000円	大昌建設株式会社	玄関屋根、物干し防水シート取 替工事
4	R7. 6. 30	ユニット型 温水洗浄便座取替工事	338,800円	熊本クボタ管 機材株式会社	温水便座取替工事
5	R7. 7. 16	地域密着型特養 リビング空調機交換工事	1,400,000円	合同会社天草 総合サービス	リビングエアコン取替工事
6	R7. 7. 31	1階洗濯室 エアコン修理工事	385,000円	三和電工設備㈱	1階洗濯室 エアコン取替工事
7	R7. 9. 12	ショート 居室改修工事	4,675,000円	金子産業(株)	ショート 再開に伴う居室改修
8	R7. 9. 12	ショート 居室エアコン設置工事	1,201,200円	合同会社天草 総合サービス	ショート 再開に伴うエアコン設置
9	R8. 2. 17	やまぐち 電話設備取替工事	330,000円	(有)三共通信機	電話設備取替
合 計			12,015,000円		

2) 備品取得及び廃棄

◎取得分

No.	取 得 日	科目	物品名	数量	取得価格	配置場所
1	R7. 6. 13	器具及び備品	リクライニング車いす	7	1,100,400円	ユニット型特養
2	R7. 6. 13	器具及び備品	車いす	2	218,400円	ユニット型特養
3	R7. 11. 13	器具及び備品	冷蔵庫45S2	1	140,000円	ユニット型特養
4	R8. 2. 17	器具及び備品	ラグーナセット	2	246,960円	ユニット型特養
合 計					1,705,760円	

※No.4 ラグーナセット…耐圧分散型で床ずれを防止するベットマット

◎廃棄分

No.	廃棄日	商品名	数量	帳簿価格	備考
1	R7. 4. 30	マッサージ器チェアー (ﾌｼﾞ 医AS840BK)	1	1円	老朽のため
2	R7. 8. 31	エリーゼ(リクライニング車イス)	4	4円	〃
3	R7. 8. 31	ティルト&リクライニング 車いすFR-31TR	1	1円	〃
4	R7. 9. 30	シャープ液晶テレビ32	1	1円	〃
5	R8. 3. 31	ニッサンNV100クリッカー チェアキャブ スロープタイプ	1	1円	〃

5. 職員の採用及び退職状況

1) 採用者数 10 名

- ・常勤職員 5 名 (介護職員 3 名、看護職員 2 名)
- ・非常勤職員 2 名 (介護職員 2 名)
- ・パート職員 3 名 (介護職員 2 名、調理員 1 名)

2) 退職者数 8 名

- ・常勤職員 3 名 (介護職員 1 名、看護職員 2 名)
- ・非常勤職員 3 名 (介護職員 3 名)
- ・パート職員 2 名 (調理員 2 名)

6. 今後の課題

① 生産性向上と持続可能な経営基盤の確立

- ・人件費や物価高騰等により厳しい経営状況が続いており、資金収支の改善が課題となっている。今後は、業務効率化や経費削減、稼働率向上等を進め、将来を見据えた安定的な運営に取り組む。

② 稼働率向上と空床期間短縮

- ・収支改善のためには、安定した稼働率の維持が不可欠である。入院による空床や入退所調整の長期化は収益減少に直結するため、空床期間短縮と利用率向上を図る。

③ 安定した人材確保と定着支援

- ・介護人材不足が継続する中、必要人員の確保が施設運営の最重要課題となっている。特に紹介事業者への依存は採用コスト増加につながっており、経営面への影響も大きいため、職員定着率向上を目指す。

④ ユニットケアにおけるサービス内容の更なる向上

- ・職員教育強化やケアの標準化等を進め、個性を尊重したケアの提供とサービス向上に努める。